

2018年7月予定

木練 せせらぎ鍵当番 3年 たくと 木練鍵当番 6年 はる

月日	曜日	カテゴリー	時間	場所	内容	備考
7月1日	日	U-12		田辺	南紀ジュニア TRM	
		その他	9:00	せせらぎG	通常練習	
7月7日	土	U-11		堺J-Green	長岡京SSカップ U-11予選L	
		U-10		田辺スポーツパーク	紀州フェスティバルU-10	
		その他	13:00	せせらぎG	通常練習	
7月8日	日	U-11		堺J-Green	長岡京SSカップ U-11決勝T	
		U-10		目良多目的G	紀州フェスティバルU-10	
		その他	9:00	せせらぎG	通常練習	
7月14日	土	U-12		紀三井寺球技場	オークワカップ県大会	1回戦・2回戦
		U-11		桃源郷G	貴志川ほたるカップU-11	U-10以下対応
		その他	13:00	せせらぎG	通常練習	
7月15日	日	U-12		紀三井寺球技場	オークワカップ県大会	準決勝・決勝
		U-11		桃源郷G	貴志川ほたるカップU-11	成績により16日(月)
		その他	9:00	せせらぎG	通常練習	
7月16日	月	全カテゴリー			休み	
7月21日	土	U-10		三郷健民グラウンド	三郷やんちゃカップU-10予選L	
		その他	13:00	せせらぎG	通常練習	
7月22日	日	U-10		奈良	三郷やんちゃカップU-10決勝T	
		その他	9:00	せせらぎG	通常練習	
7月28日	土	U-12		舞洲G	マルス杯 U-12	
		U-12		猪名川第4運動広場	伊丹市招待 U-12 予選L	
		その他	13:00	せせらぎG	通常練習	
7月29日	日	U-12		伊丹	伊丹市招待 U-12 決勝T	
		その他	9:00	せせらぎG	通常練習	

連絡

【2018年8日月以降の主な予定】

- ・ 08月04日・05日 夏合宿 3年生～6年生 会場：せせらぎG
- ・ 08月12日 AOカップ U-12 堺J-Green
- ・ 08月18日・19日 チャンピオンカップ U-12 64チーム参加
- ・ 08月18日・19日 和歌山カップ U-12 会場：せせらぎG
- ・ 09月01日・02日 阪南市サマーカップU-12大会 グラウンド：いきいきパーク 32チーム参加
- ・ 09月01日・02日 大阪市スポ少U-10大会 グラウンド：舞洲 48チーム参加
- ・ 09月08日・09日 関西ジュニアU-11大会 FCグラシオン主催 会場：ポスコヴィラ
- ・ 10月07日・08日 関西ジュニアU-09大会 FCグラシオン主催 会場：ポスコヴィラ

お願い

【代表監督より皆さんへ】

◆御礼

全国高校総合体育大会(インターハイ)に初芝橋本の中井けいん君が背番号10番で出場します。毎回、卒業したOBに保護者会からもお祝いをさせていただいております。指導部会からも毎回させて頂いております。有難う御座いました。ご検討をお祈り致します。

◆新年度のチーム指導方針(チーム全員の共通認識を求めます)

何事にも苦しい時に逃げない力、リバウンドメンタリティーをあげていきます。
選手には、自分で「判断」「決断」「実行」「責任をとれる選手」になってもらうべく指導していきます。
指導者や人の話をよく聴ける「傾聴力」をつけてもらいます。
自分の考えをまわりの人に認めてもらうように「主張力」をあげていけるように導いていきます。
技術面では、全カテゴリーで「奪う」をテーマに「失敗を恐れない」「失敗の後の対応に対して指導」していきます。
基本からひとつひとつ積み上げていく1年にしたいと思っております。
保護者の皆さん、「人へのリスペクト」思いやりを家庭でも教えてあげて下さい。うまくなくても続けていけば必ずうまくなっていきます。一喜一憂しないように願います。
指導者の皆さん、もういちど初心にかえり一人の指導者で試合・練習・大会など完遂できるようにひとりひとりのレベルを上げていければと思います。私も全てを完遂して少しでも選手のサポートできるようにしていきます。
全員でボールを「奪い」「超高速カウンター」、状況に応じて遅攻・ポゼッションなど「自由なストリート戦術」でセレソンのサッカースタイルを確立していきます。

【三位一体についての理解をお願いします】

指導者・・・たえず勉強を怠らずどうすれば個人・チームの改善ができるのか考え・実践し実績を積み上げ環境をよくする。
選手・・・いつも前向きに練習に取り組み判断・決断し反省を素直にできる。勇敢な選手へ努力を惜しまない
保護者・・・たえず選手・チームのサポートを積極的におこない、選手がのびのび成長できる環境をつくっていく。
後援会・・・指導者・保護者などチーム(選手)を直接サポートする方たちの後方支援をおこなう。チームサポーターである
※今、チーム(選手)の環境をよくする為、本当の意味で三位一体の力の結集が必要です。何をしてあげられるのか！
何をしたのか！全員が積極的に関心を持ち参加することで壁を乗り越える事ができると思います。